江里康慧 江里佐代子 展

―仏像と截金

2011年 4月23日㈯－5月29日㈰

［会期中無休］

但し、この期間は常設展示の「萬古の名陶」は休みとなります

◉江里康慧師列品解説　5月1日㈰　14時～

開館時間：9時30分～17時30分（入館は17時まで）

入館料：一般　1000円（4枚セット券3000円）
大学生　800円／高校生　500円／中学生以下無料

主　催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

特別協力：平安仏所

後　援：中日新聞社、三重テレビ放送、伊勢新聞社、読売新聞社、㈱シー・ティー・ワイ、ケーブルネット鈴鹿

ERI KOKEI / ERI SAYOKO

左：江里康慧（彫刻）　平安仏所（截金）「聖観音菩薩立像」2008年　撮影：山崎兼慈
右：江里佐代子　「截金彩色続命縷（左）『碧い花』（中）『天空』（右）『薫風』」2006年　撮影：山崎兼慈

公益財団法人岡田文化財団
paramitamuseum
〒510-1245　三重県三重郡菰野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088　Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com　E-mail=office@paramitamuseum.com

江里康慧 江里佐代子展
―仏像と截金

現代を代表する仏師江里康慧は、昭和18年仏師江里宗平の長男として京都に生まれました。その後19歳で大仏師松久朋琳・宗琳師に入門、仏像制作の研鑽に励みました。そして独立後は父江里宗平に師事しながら、仏像の原点を求めて自らの仏像表現に取り組みました。

「一刀礼拝、斎戒沐浴」という厳しい心構えで制作される師の仏像は、その内部に深い精神性を宿しています。

また夫人の江里佐代子は、仏像を荘厳する截金の制作に携わり、平成14年、57歳の若さで重要無形文化財「截金」保持者（人間国宝）として認定を受けました。また、その伝統技法を多くの人々に知ってもらおうと身近な工芸作品に截金を施す活動も行いました。そして茶道具、飾筥、衝立をはじめとして、平成17年には京都迎賓館の建築壁面装飾まで手がけることとなりました。

しかし、平成18年秋、日本文化を紹介するためイギリス大英博物館で実技と講演を行った江里佐代子は夫と二人で立ち寄ったフランス・アミアンの地でたおれ、帰らぬ人となりました。享年62歳でした。

パラミタミュージアムでは、平成20年「江里佐代子展―華麗なる截金の世界」を開催し、その業績を顕彰しましたが、今回は大仏師江里康慧の仏像とともに、平安仏所に遺された江里佐代子の截金作品の中から前回展示できなかった作品も含め、一堂に展示します。

現代最高の大仏師による仏像と古代技法を用いた精巧な工芸作品の世界をお楽しみください。

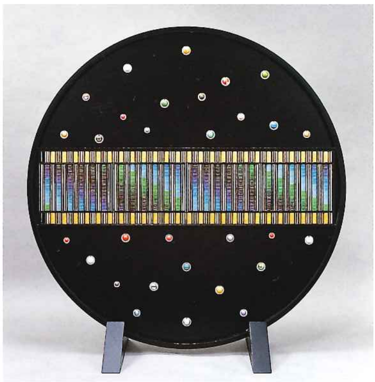
截金（きりかね）●古代より仏像の荘厳に用いられる技法。純金箔を数枚焼き合わせたものを鹿皮の盤上で竹の刀で細く切り、それを筆先につけて貼りながら文様を描き出す。13世紀頃には他の仏教美術とともに頂点を極めるが、金泥技法の出現などで衰退し、限られた少数の截金師により伝承されている。

江里康慧

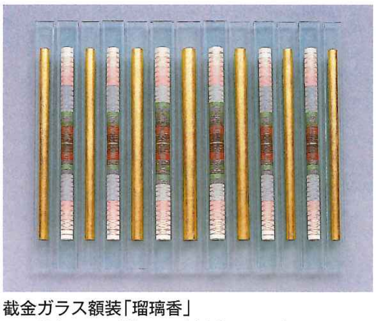
聖徳太子孝養像
56.5（像高） 67.5（総高）） 2010年
撮影：山崎兼慈

江里佐代子

截金飾筥「宙へ」（第35回日本伝統工芸近畿展）
16.5（幅）×8.6（高）×16.5（奥行） 2006年
撮影：山崎兼慈



截金スクリーン「そらのあさ、そらのよる（夜）」
146.0（幅） 150.0（高）×50.0（奥行） 2001年
撮影：木村尚達



截金ガラス額装「瑠璃香」
80.5（幅）×62.0（高）×7.0（奥行） 2003年
撮影：木村尚達

■ 江里康慧（えりこうけい） 略歴

1943年	京都市に生まれる
1962年	京都市立日吉ケ丘高校美術課程彫刻科を卒業 大仏師 松久朋琳師・宗琳師に入門
1965年	独立 父、江里宗平（仏師）に師事
1983年	日本文化祭にて作品展と実演 （スイス・ジュネーブ市立民族博物館）
1989年	三千院（京都府）より大仏師号を賜る
1990年	和光ホールにて「江里康慧・佐代子の世界 ―原点をさぐる仏像と截金―」
1993年	和光ホールにて「江里康慧・佐代子の世界 ―仏像と截金―」
1997年	和光ホールにて「江里康慧・佐代子の世界 ―仏像と截金にみる輝き―」 仏教美術展「具現化された悟り ―日本仏師の芸術―7～14世紀」にて 実演とシンポジウム（アメリカ・ニューヨーク市ジャパンソサエティー）
1998年	仏教美術「奈良の宝物展」にて実演（アメリカ・クリーブランド美術館）
1999年	「江里康慧・佐代子 仏像と截金 ―いま―」展（京都ブライトンホテル）
2001年	大本山瀧光徳寺（佐賀県）より大仏師号を賜る 和光ホールにて「江里康慧・佐代子 仏像と截金 ―原点より未来へ―」
2003年	京都府文化賞受賞
2006年	和光ホールにて「江里康慧・佐代子展 仏像と截金 ―今、その語りかけるもの―」
2007年	財団法人仏教伝道協会より仏教伝道文化賞受賞
2008年	「美の融合：江里康慧・佐代子の仕事」講演（アメリカ・ボストン美術館）
現 在	平安仏所主宰 財団法人国際仏教文化協会理事 龍谷大学客員教授 東京藝術大学大学院非常勤講師 同志社女子大学嘱託講師
著 書	「仏師という生き方」廣済堂出版、「仏像に聞く」K.K.ベストセラーズ

■ 江里佐代子（えりさよこ） 略歴

1945年	京都市に生まれる
1978年	北村起祥師に師事、伝統截金の手ほどきを受ける
1982年	和光ホールにて初個展、以後個展、二人展7回開催
1983年～	日本伝統工芸展 日本工芸会総裁賞、高松宮記念賞 日本伝統工芸近畿展 日本工芸会賞、日本経済新聞社賞 伝統工芸第七部会展 朝日新聞社賞、日本工芸会賞 京都府工芸美術展 大賞、優秀賞 京展 市長賞、毎日放送賞、産経新聞社賞、市長賞など数々の賞を受賞
1994年	正倉院宝物「漆彩絵花形皿」模造制作参加
1997年	日本の仏教美術展（アメリカ・ニューヨーク）
1998年	奈良の仏教美術展（アメリカ・クリーブランド美術館）
1999年	日本の工芸『今』100選展（フランス・パリ）
2002年	重要無形文化財「截金」保持者認定
2003年	京都府文化賞受賞
2004年	京都迎賓館 晩餐室舞台扉、大広間欄間、貴賓室飾り台の截金制作
2005年	紫綬褒章受章
2007年	財団法人仏教伝道協会より仏教伝道文化賞受賞 「わざの美：伝統工芸の50年」展にて截金の実演と講演（イギリス・大英博物館） フランス・アミアンにて歿 旭日小綬章受章

交通機関

■お車をご利用の場合＝東名阪四日市I.C.で降りて国道477号（湯の山街道）を湯の山方面へ約6.5km。 無料駐車場あり（普通車100台、大型バス駐車可）
■電車をご利用の場合＝近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m。
全館バリアフリー、車椅子常備

公益財団法人岡田文化財団
paramitamuseum
〒510-1245 三重県三重郡菰野町大羽根園松ケ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
http://www.paramitamuseum.com
E-mail=office@paramitamuseum.com

同時開催

ジュディ・オング倩玉（せいぎょく） 木版画の世界展

歌手・女優として世界を舞台に活躍するジュディ・オングが25歳頃に出合ったのが木版画。本展では、初期から日展に出品した最新作まで、日展特選作品を含む傑作を一挙に公開いたします。

次回開催

第6回 パラミタ陶芸大賞展

2011年6月2日㈭―7月31日㈰

恒例となった陶芸大賞展も6回目を迎えました。全国の美術関係者より推薦を募り、ノミネートされた6名の作家が、パラミタミュージアムのスペースを使い作品を展示します。

出品作家：伊勢﨑晃一朗（岡山）、加古勝己（兵庫）、鈴木秀昭（静岡）、中島晴美（岐阜）、松本ヒデオ（滋賀）、和田 的（千葉）